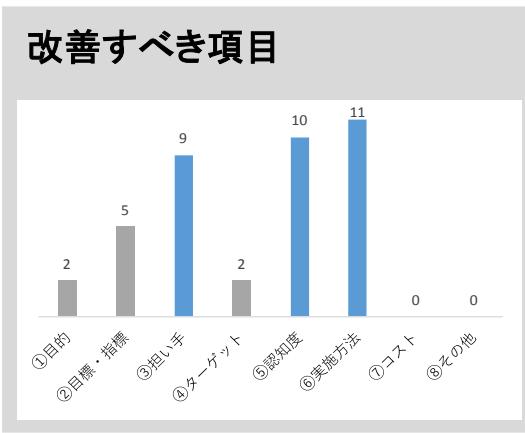


事業の名称	環境衛生事業	
部名	環境資源部	課名 環境保全課
事業の目指すべき姿	市民一人一人の環境美化意識と喫煙マナーの向上により、ごみの散乱等が無いような、きれいなまちを目指す。	

総合評価	改善すべき
評価結果	

各評価人の評価	よく取り組んでいる	0人
	改善すべき	7人
	大いに改善すべき	4人
	廃止すべき	0人



評価人の意見

(1) 実施方法
市民への意識調査を実施するなど、ごみのポイ捨てなどの原因を分析して、店舗などとの連携を踏まえた仕組みづくりを行ってほしい。

- ・店舗などとの連携も視野に入れ、ごみ箱の設置及びごみ捨てのマナーが守られる仕組みを検討する必要がある。
- ・ごみを出さない、ポイ捨てしないような市民の意識を高める仕組みやルール作り等をする必要がある。
- ・ごみが増えた原因分析をし、それに応じた対策をとる必要がある。
- ・小田急町田駅東口広場内の喫煙所がなくなることにより、他の喫煙所に喫煙者があふれることや、路上喫煙禁止の指導件数が増加することなどが予想される。それらへの対策を強化する必要がある。

(2) 認知度
市が行う取組みの認知度を向上させるだけでなく、「町田の顔である町田駅周辺をきれいにしよう。そのためにごみは原則持ち帰ろう。」というような共通意識を市民に持ってもらうことが重要である。

- ・美化推進重点区域や指定喫煙所の認知度を高める必要がある。
- ・周知には、区域や場所を設定した目的を伝える必要がある。
- ・市民が、これまでよりさらにごみ捨てのマナーを守るよう、周知方法や頻度を見直す必要がある。
- ・周知は、市外の人にもわかる仕組みで実施する必要がある。

(3) 担い手
市がかけられるコストと人員には限りがある。行政と市民や民間事業者が相互理解をしながら取組みを進めてほしい。

- ・コストと人員には限りがあるため、行政で全てを実施するのではなく、行政・市民・民間事業者が協力し合う必要がある。

改善の基本的な考え方

(1) 実施方法
ポイ捨てされたごみの種別や回収量を調査するなどして、ごみのポイ捨てがない環境づくりに取り組む。

喫煙者、非喫煙者ともに、心地よく過ごせるような環境づくりに取り組む。

(2) 認知度
美化推進重点区域及び指定喫煙所の認知度向上のため、周知内容、方法、頻度を工夫する。

(3) 担い手
市民や民間事業者が担える部分について、連携してごみのポイ捨て防止に取り組む施策を研究する。

事業所管課の改善に向けた具体的な取組

(1) 実施方法

- ①ごみのポイ捨てに対する問題意識と、「ごみは持ち帰る」という意識の向上のため、市ホームページにて、美化推進重点区域内のポイ捨てごみの量や写真を公表する。
- ②環境に関する情報発信を行っている『ハスのん』インスタグラム及びツイッターといったSNSを活用して、幅広い世代に向けて、啓発活動の様子を発信したり、マナー向上を呼びかける。
- ③町田駅周辺の美化推進重点区域内で回収されるポイ捨てごみの増加要因を研究する。
- ④都や他自治体の取組みを注視しながら、指定喫煙所を利用しやすくなるような仕組みを研究する。

(2) 認知度

- ①『ハスのん』インスタグラム及びツイッターを活用して、美化推進重点区域や指定喫煙所について、幅広い世代に向けた情報発信を行う。
- ②市が発行する観光マップや地図など、観光客や市民の多くの方が目にする機会がある媒体に、美化推進重点区域や指定喫煙所の掲載が可能か検討する。
- ③美化推進重点区域や道路等喫煙禁止区域、指定喫煙所の認知度を高めるために、わかりやすい新たな標示方法を検討する。
- ④効果的に啓発ができるよう、美化推進重点区域内の指導回数の多い場所で、重点的に啓発活動を行う。

(3) 担い手

- ①市が行っている「ポイ捨て・路上喫煙禁止マナーアップキャンペーン」などのごみのポイ捨て防止啓発活動に高校生も参加できる仕組みを検討する。
- ②飲食物の空き容器を、販売した店舗で対応してもらえるよう、市ホームページで協力を呼びかける。

目標

指標	現状値 (時点)	目標値 (時点)
①ホームページでの公表	①ー (2020年3月)	①公表 (2020年5月)
②SNSの発信回数 (年間)	②ー (2020年3月)	②4回 (2021年3月)
③ポイ捨てごみの増加要因の分析	③ー (2020年3月)	③研究成果まとめ (2021年3月)
④仕組みの研究	④ー (2020年3月)	④研究成果まとめ (2022年3月)

指標	現状値 (時点)	目標値 (時点)
①SNSの発信回数 (年間)	①ー (2020年3月)	①4回 (2021年3月)
②掲載方法の検討	②ー (2020年3月)	②検討完了 (2021年3月)
③新たな標示方法の検討	③ー (2020年3月)	③検討完了 (2021年3月)
④啓発場所を工夫した啓発活動数 (年間)	④ー (2020年3月)	④3回 (2021年3月)

指標	現状値 (時点)	目標値 (時点)
①仕組みの検討	①ー (2020年3月)	①検討完了 (2021年3月)
②店舗への協力呼びかけ	②ー (2020年3月)	②実施 (2020年5月)

結果

実績値 (時点)	取組内容

実績値 (時点)	取組内容

実績値 (時点)	取組内容